

「新しい自分を見つけよう！きらりキャンプ in 阿蘇～秋編～」

事業報告書

事業推進室長 安部 信吾

1 事業の概要

- (1) 趣 旨 自然体験を通して、熊本地震の影響や不登校（不登校傾向、別室登校などを含む）など心に悩みをもつ青少年に自然体験の楽しさや達成感を感じさせ、自己肯定感を育む。また、交流の家での生活を通して、規則正しい生活のよさや友達と交流する喜びを感じさせ、基本的な生活習慣づくりのきっかけとなるようにする。
- (2) 期 日 平成30年9月29日（土）～~~9月30日（日）~~—【1泊2日】—
※台風接近のため、日帰りを実施。
- (3) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家
- (4) 参加者 6名（中学生1名・小学生2名・保護者3名）
- (5) 担当職員 安部 信吾（事業推進室長） 花田 誠（企画指導専門職）
前田 夢依（事業推進係員） 古閑 仁美（事業支援室事務補佐員）
法人ボランティア2名
- (6) 内 容 【1日目】杵島岳登山→ボルダリング体験、野外調理（カレーライス）
—【2日目】ツリーイング体験—

2 成果と課題

- (1) 成 果
- 初めて会った参加者同士やボランティアと、ボルダリングや野外調理の活動を通して、いろいろな話をしたり協力したりする姿が見られ、交流する喜びを味わうことができたように思う。
 - 「ボルダリングは初めての体験で楽しかったです。」（参加者）、「ボルダリングは子供がずっとやりたがっていたのでうれしかったです。手が痛くなるまで挑戦できてとても満足だったと思います。」「家庭でも体験させていたことはありましたが、お兄ちゃん2人と一緒にさせてもらえて、今日は今までで一番がんばっていました。」（保護者）などの感想があった。予定していた登山を雨天プロのボルダリングに変更したが、参加者が達成感を味わいながら十分楽しめ、参加者も保護者も満足できるプログラムとなった。
 - 前回参加者からの紹介や熊本市の学習支援センターへの広報を行うことで参加者が増えた。次回に向けても広報の範囲を広げていきたい。
- (2) 課 題
- 雨天プロに変更しても満足度は高かったが、「ツリーイングがしたかった。」「泊まりたかった。」などの声があった。雨天プロへの変更で楽しみにしていた活動ができなかったことへ残念さがうかがえた。
 - 参加者が募集人員に達しなかった。第3回に向けて教育委員会や校長会などで今回の成果を報告し広報の依頼を再度行うとともに、広報先の拡大を図る必要がある。